



私の街こまつ



遠いは近い  
つなごる学校

THE KOMATSU CITY COUNCIL NEWS



2025

8.1

NO.218

# 議会だより



## 令和7年度補正予算 19億970万円を可決 委員会の新構成が決まりました



### Contents

4月臨時会	2	予算決算常任委員会総括質疑	17
新委員会構成	3	常任委員会 審査報告	19
6月定例会	4	特別委員会 調査報告	22
市政Q&A		議決結果	23
代表質問・一般質問	6	活動ピックアップ	24

撮影 小松大谷高等学校写真部 1年 谷口 心悠さん



市議会HP



マチイロ

## 議案第35号 財産の取得について

市長から提出のあった議案第35号について、福祉文教常任委員会で審査されました。

### ■学習用端末（児童生徒用）の更新整備について

小中学校全ての児童生徒に配布されている1人1台のタブレット端末について、国のGIGAスクール構想第2期により、一斉更新を行います。



### ■福祉文教常任委員会 審査報告

本案件は、GIGAスクール構想における、児童生徒1人1台の学習用端末を更新整備するものです。

取得にあたっては、県内市町の共同調達の手法により、石川県GIGAスクール構想推進協議会で決定した業者と契約するものであり、文部科学省からの補助が2/3で、1/3は市単独予算です。

準備の整った学校から、2学期運用開始を目指すとされており、さらに進化したICT教育環境の整備と活用を期待するものです。

委員からは、積み立ててある基金においては今後も大切に使うよう求める意見や、子供たちの教育が遅れないようきめ細やかな対応を求める意見がありました。

全会一致で可決されました

## 議案第36号 副市長の選任について

### ■人事案件

副市長 こした 越田 ゆきひろ 幸宏 氏（本大工町）の選任に同意しました。



# 委員会の新構成が決まりました

(◎は委員長、○は副委員長)

## 常任委員会

### 予算決算常任委員会

予算及び決算に関する事項を調査します。

◎新田 寛之 ○宮西 健吉  
他20名(全議員)

### 総務企画常任委員会

議会事務局、市長公室、総合政策部、行政管理部、消防本部、会計課、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、その他、他の常任委員会の所管に属さない事項を調査します。

◎吉本 慎太郎 ○中西 肇  
村中 洋 南藤 陽一 木下 裕介  
高野 哲郎 川崎 順次 橋本 米子

### 福祉文教常任委員会

こども家庭部、健康福祉部、教育委員会、小松市民病院の所管に属する事項を調査します。

◎吉村 範明 ○吉柴 文悟  
木村 賢治 新田 寛之 片山 瞬次郎  
宮西 健吉 灰田 昌典

### 経済建設常任委員会

国際文化交流部、経済環境部、都市創造部、上下水道局、農業委員会の所管に属する事項を調査します。

◎東 浩一 ○深田 博智  
濱口 淳也 斎藤 和美 岡山 晃宏  
梅田 利和 表 靖二

## 議会運営委員会

議会の運営に関し、必要な事項を定めます。

◎高野 哲郎 ○梅田 利和  
濱口 淳也 新田 寛之 吉村 範明  
宮西 健吉 表 靖二

## 小松基地・空港対策特別委員会

飛行の安全に関する調査・飛行場周辺まちづくりに関する調査を行います。

◎梅田 利和 ○新田 寛之  
濱口 淳也 斎藤 和美 東 浩一  
高野 哲郎 川崎 順次

## その他委員会など

### 倫理推進委員会

◎新田 寛之 ○東 浩一  
斎藤 和美 村中 洋 吉本 慎太郎  
宮西 健吉 川崎 順次

### 議会だより編集委員会

◎村中 洋 ○吉柴 文悟  
濱口 淳也 深田 博智 斎藤 和美  
東 浩一

### 意見書等調整会議

座長 高野 哲郎 副座長 梅田 利和  
木村 賢治 吉柴 文悟 岡山 晃宏  
木下 裕介 吉村 範明 吉本 慎太郎

### 政務活動費運営協議会

会長 岡山 晃宏 副会長 梅田 利和  
深田 博智 村中 洋 中西 肇  
橋本 米子

### ICT運営協議会

会長 岡山 晃宏  
木村 賢治 吉柴 文悟 深田 博智  
片山 瞬次郎

### 国際交流推進議員連盟役員

会長 南藤 陽一 副会長 吉本 慎太郎  
理事 斎藤 和美 村中 洋 中西 肇  
新田 寛之 吉村 範明 高野 哲郎  
表 靖二  
監事 吉柴 文悟 濱口 淳也  
事務局長 岡山 晃宏

### 北陸新幹線建設促進議員連盟役員

会長 南藤 陽一 副会長 東 浩一  
理事 吉柴 文悟 深田 博智 木下 裕介  
新田 寛之 梅田 利和 吉本 慎太郎  
宮西 健吉  
監事 木村 賢治 村中 洋  
事務局長 岡山 晃宏

### 南加賀広域圏事務組合議会

南藤 陽一 梅田 利和 高野 哲郎  
宮西 健吉 川崎 順次 表 靖二  
灰田 昌典

## 新議長に南藤 陽一議員を選出



第56代  
小松市議会議長  
南藤 陽一

### 《就任の御挨拶》

市民の皆様には、日頃より市政並びに市議会活動に温かい御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、令和7年6月定例会におきまして、第56代小松市議会議長に就任することになりました。身に余る光栄であります。

本市が今後も持続可能な都市として、未来に残っていくために、そして、市民の皆様の生活が安定し、平和で穏やかであるよう、これまで以上に、議会の役割をしっかりと果たしていく所存であります。

何とぞ市民の皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

## 6月定例会

会期〈6月9日～7月4日〉

6月9日 開会

市長提出議案

予算案 4件

条例案 10件

その他議案 4件

16日 代表質問 (3人)

一般質問 (3人)

17日 一般質問 (7人)

18日 一般質問 (6人)

24日 予算決算常任委員会総括質疑

25日 各常任委員会 (分科会)

27日 特別委員会

7月2日 予算決算常任委員会

4日 閉会

市長提出追加議案 3件

議員提出議案 4件

その他議案 1件

※議案等の採決結果 (P23参照)

### 条例案等をチェック

市長から提出のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。(P20参照)

### 議員提出議案をチェック

議員から提出された議案のうち意見書については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。(賛否はP23参照)

議案第4号 学校給食の無償化制度の構築を求める意見書

議案第5号 経口中絶薬の要件変更に係る慎重な対応を求める意見書

議案第6号 持続可能な高額療養費制度になるよう更なる議論を求める意見書

議案第7号 脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書

### 人事案件

人権擁護委員

村田 哲朗 氏 (金平町)

安井 公英 氏 (白江町)

大田 佐和子 氏 (西町)

中村 知恵 氏 (安宅町)

の推薦に同意しました。

### 本会議の討論

橋本議員から市長提出議案第37号、請願第1号、議員提出議案第6号に対し、反対討論がありました。

木下議員から議員提出議案第5号に対し、反対討論がありました。

## 予算案をチェック

主な提案内容を紹介します。

- **デジタル地域通貨活用事業費**……1億360万円  
デジタル地域通貨を活用し、16歳以上の市民へ支援
- **働く世代応援自治体マイナポイント事業費**……1億9,500万円  
自治体マイナポイントを活用し、働く世代(19~64歳)に向けて支援
- **幼児健康診査費**……328万円  
5歳児健診を新設、4か月健診の受診率向上へ集団健診実施
- **曳山保存展示施設整備費**……500万円  
曳山保存に向けた基本構想、基本計画の策定



小松市イメージキャラクター  
カブッキー

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P19参照)

## 令和7年度6月補正予算

会計名	補正額
一般会計	9億5,030万円
特別会計	9億1,000万円
企業会計	4,940万円
計	19億970万円

### 一般会計の累計

547億6,030万円

### 全会計の累計

1,126億5,990万円

## 小松市市政功労者表彰、 全国市議会議長会・北信越市議会議長会表彰

本年度の表彰式及び伝達式は6月9日(月)、6月定例会初日の開会に先立ち、本会議場で行われました。  
今回、表彰を受けられた議員は次の方々です。また、橋本米子議員、川崎順次議員は小松市議会表彰も受賞されました。

### 〈30年表彰〉

橋本 米子 議員  
川崎 順次 議員

### 〈10年表彰〉

南藤 陽一 議員



(前列中央左から)

南藤 陽一 議員      橋本 米子 議員      川崎 順次 議員



会派自民  
おもて やすし  
表 靖二 議員

代表質問 一括質問

# 未来型図書館 計画の縮減について



動画で  
チェック

## ◆未来型図書館と財政

**Q** 市側が現在示している計画では建築面積約9,000㎡、総事業費約86億円とされている。しかし、昨今の急激な建築単価の高騰により、事業費が1.5倍から2倍に達する可能性がある。経常収支比率95%に近い本市の財政状況で、総事業費が100億円を超える図書館の建設は大丈夫なのか。

**A** 民間事業者との対話や詳細な見積り等を参考に、さらに事業費の精査を行っていき、引き続き施設整備費及び管理運営費について市場の動向を注視していきたい。

**Q** ハコモノ3原則（新規整備の抑制、複合化の推進、総量の縮減）に基づき、規模を縮減してはどうか。

**A** 施設規模については、市民との対話の下、多面的な機能を有する複合施設として、公共施設マネジメントの観点も踏まえ、9,000㎡を基本に検討を進めてきており、多様な機能や市民活動を実現するため、現時点で規模の縮小は考えていない。



現在の市立図書館

## ◆エコロジーパークの現状と将来について

**Q** 金沢市をはじめとした近隣市と比較して、営業時間が一番長く、年間の休業日は一番少ないという現状

がある。また、金沢市などは予約制を採用している。適正な営業時間や営業日数、予約制の導入についてはいかがお考えか。

**A** 当面は現行の受入れ方法を維持するが、今後は予約制の導入だけでなく、搬入手数料の見直しや営業日、営業時間等、あらゆる面を総点検し、見直しを検討していきたい。

**Q** 社員、パート等の高齢化が著しいが、是正してはどうか。

**A** 将来にわたって安定的に運営を維持していくためにも、受託事業者が新規採用を含めた人員配置を適正に進めていけるよう、本市としても連携・協力していきたい。

## ◆学校再編と出生率について

**Q** 令和7年、小学生は5,326人、15年後は3,327人で38%の減少率となる予測がされている。市では学校再編についてどのような基準で臨むのか。

**A** 統廃合の基準については、国が定めた公立学校の適正規模・適正配置等に関する手引を念頭に置きつつも、本市の実情にとって最適な基準を定めていきたい。

**Q** 削減による経済的効果については、1校あたり平均約6,000万円程度と考えられる。財政面での効果は大きいと思うが、この点についての考えは。

**A** 子供たちにとって豊かで多様な学びの場を再構築するためにも、学校の適正規模、適正配置の検討を進める必要がある時期であると考えている。今年度から小中学校の適正規模、適正配置について検討を進めていく。



小松志士の会  
みやにし けんきち  
宮西 健吉 議員

代表質問 一括質問

小松の未来を  
形づくる重点的取組  
Komatsug  
プロジェクトについて



動画で  
チェック

◆小松空港シン都心整備について

**Q** アリーナ建設に手を挙げた北國フィナンシャルホールディングスは、建設費が350億円に上るため民設民営を断念し本市に謝罪した。謝罪すれば済む問題でない。市長の見解は。

**A** 民設民営でのプロジェクトが断念されたのは大変残念だが、南加賀、県全体の成長のため、事業者・県・市の三者で協議を行いたい。

**Q** 防災庁の分局誘致について市の見解は。

**A** 本市の抜群のアクセス力と災害対応実績など、空港周辺の優位性を強くアピールし、積極的な誘致活動に取り組む。

◆小松駅周辺の再整備について

**Q** 北陸電力複合ビル「ウレシャス小松」の概要と竣工式の予定は。

**A** 多目的ホールのほか、オフィスやホテル、小松大学などを有する10階建ての複合ビルである。市が借り受けるオフィスフロアは、優先交渉権者を選定し契約に向けて協議中。竣工式は10月23日を予定。

◆芦城公園周辺の再整備について

**Q** 未来型図書館を中心とする文化・歴史・緑が融合する一大ゾーンの今後の構想は。また、曳山保存展示施設の構想は。

**A** 図書館や博物館、市民交流・活動機能を持った複合施設とし、芦城公園周辺エリアの賑わいを創出する。曳山保存展示施設は、曳山3基を保存展示可能とした施設を整備。

◆木場潟での子育て拠点の整備について

**Q** 北陸随一の学び・遊び場の構想は。2030年育樹祭開催実現に向けてのスケジュールは。

**A** 学びや遊びの機能を集約した子育てゾーンとして、県と連携して本エリアのビジョン実現に取り組む。3年前に育樹祭開催が正式決定、2年前に実行委員会の設置、1年前に実施計画策定といったスケジュールを予想。

◆産業ブースト計画について

**Q** 向本折地区土地区画整理は。

**A** 令和8年度に事業認可申請、9年度に公募、11年度末に事業完了を予定。様々な産業を配置し、雇用の創出を推進する。

◆未来を育む学びのリビルドについて

**Q** 全小中学校と市立高校の規模、立地、教育体系についての見解は。

**A** 校区の見直しなど全小中学校を対象に適正規模・配置の検討を進める。市立高校については、教育内容・規模・校舎移転など総合的に在り方を検討する。

◆南加賀の地域医療の強化について

**Q** 新市民病院の構想について。

**A** 救急医療や高度医療の強化・充実に図り、地域の医療機関との連携強化・機能分担を明確にした上で、診療科の見直しを含む抜本的な経営改善を図る。

◆地域公共交通の再構築について

**Q** 公共交通の課題とは。

**A** 運転士の不足や高齢化、路線バスの利用者減少など。

**Q** 持続可能な公共交通の構築は。

**A** 自動運転バスや公共ライドシェア、乗合ライドシェアなどをエリアごとに適材適所に組み合わせる。

◆市税収入200億円突破計画について

**Q** 達成するための戦略は。

**A** 産業創生による法人市民税や固定資産税の増加、子育てサポートによる人口増加で個人市民税の増加を見込む。公有資産の民有化による課税資産への転換にも取り組む。

**Q** ふるさと納税目標10億円でCMOの見解は。

**A** 市税に次ぐ自主財源の確保は、本市の未来を築く大きな礎となる。民間での経験と移住者としての視点を活かし挑戦する。

◆小松市公民館連合会について

**Q** 役割とこれからの方向性は。

**A** 中央及び地区公民館、分館で組織され、公民館活動の振興・発展に資する事業を行っている。

**Q** 市立公民館の役割とこれからの方向性は。

**A** 「まなぶ」の役割を担い、市民を対象に様々な講座を行っている。地域の自発的な学びの活動拠点となる体制への見直しを行う。



自民党こまつ  
かわさき じゅんじ  
川崎 順次 議員

代表質問 一括質問

未来の小松へ挑戦を!!  
次の世代のために...



動画で  
チェック

◆市長2期目に向けて

**Q** これからの4年間、小松市の未来をどのように描いていかれるのか。重点的に取り組まれているKomatsu9プロジェクトや2040年ビジョンの実現には、批判や反対、後ろ向きな意見があると思うが、未来の小松のために果敢な挑戦を続けていただきたい。

**A** 小松市がやらずにどこがやるのかという気概を持って、希望ある小松市を次世代へつないでいくために、万里一空の精神で2040年ビジョンの実現に向けて、ウラ日本から新たなまちづくりに挑戦してまいりたいと考えている。

◆アリーナ計画見直しについて

**Q** 建設費は当初より増加し、北國フィナンシャルホールディングスは民設民営での整備を断念され、官民一体での事業化を目指すとの報道であった。今後慎重かつ戦略的判断が求められる中、県を含めた3者の協議の場を早期に持つことが大事ではないか。

**A** 民設民営でのプロジェクト続行が断念されたことは非常に残念ではあるが、今後は、公的支援の再検討など、県を含め3者で共通認識を持った上で協議を進めていきたい。

◆県内の周辺断層帯での地震発生による被害想定について

**Q** 小松市での大きな被害が想定される福井平野東縁断層帯地震から、命を守るための備えを抜本的に見直し、災害対応体制の強化に早急に着手する必要があるのでは。

**A** 今回の甚大な被害想定を受け、早急に地域防災計画の改訂に着手する必要があると考え、5月29日に市防災会議を開催した。

今回の地域防災計画の改訂は令和7年度末を目指しているが、引き続き自助、共助の防災意識を高めるため、地震を想定した防災訓練をはじめ、自主防災

組織の活性化等、地域防災力の向上を図っていく。

◆市内の上下水道管の耐震化、老朽化対策について

**Q** 駅周辺の下水道管は耐用年数である50年を経過しているが、老朽化対策にAI等の導入は。

**A** テレビカメラ映像をAIで解析し、劣化状況の判定精度の向上や診断の効率化が可能なシステムの実用化が始まっており、これらAI技術の積極的な活用をしっかりと検討していく。

**Q** 上水道管の耐震化は、地震被害における初動体制の要である。

**A** 令和6年度に老朽管更新も含めた上下水道耐震化計画を策定したところであり、今年度はAIの劣化予測診断を利用してアセットマネジメント計画の策定を行う。

◆防災庁の地方拠点について

**Q** 小松市は地方拠点に最もふさわしいと考えるが。

**A** 石川県とも連携しながら、引き続き積極的な誘致活動に取り組んでいく。

◆小松市民病院へのNICUの設置について

**Q** 小さな命を守る体制の整備を求め。

**A** 石川県の医療計画では既存の4か所での設置となっており、現時点では小松市民病院での設置は難しいと考えている。

◆小松市CMOの林聖大さんに聞く

**Q** 222人の応募から選ばれたが、これから市長とどのような戦略で挑むか。

**A** 官民連携を一層強化し、地場産業と連携した商品開発やプロモーションを進めていきたい。

◆市立高校の改革について

**Q** 現在の公立高校の動向は。

**A** 市立高校の普通科では、平成8年の男女共学化以降、令和5年に初めて一般入試の出願倍率が定員を下回ったが、以降は定員を満たしている。一方、芸術コースでは定員を下回る年が多く、令和7年度も倍率は0.71倍となっている。

**Q** 現代的な部活動（ダンスやeスポーツ）の導入状況は。

**A** 南加賀地区で唯一のダンス部が約3年前に同好会から始まり、現在は約40人が在籍する学校最大規模の部活動となっており、外部指導者の指導のもと、大会参加や地域イベントと、地域貢献に積極的に取り組んでいる。

**Q** 生徒主体の育成システム構築について。

**A** 予測困難な社会の変化に対応するためにも、生徒が自ら考え行動する主体的なチャレンジ精神を育むため、探究的な授業や部活動を通じて、主体的に挑戦する力を養い、地域で活躍・貢献できる生徒の育成を進めていく。

◆小松市の公式LINEについて

**Q** 開設から現在までの運用実績と数値データは。

**A** 公式LINEは令和2年度に運用を開始し、現在の登録者数は約2万7,000人おり、防災や生活情報などを中心に、ジャンル別に情報を配信している。

**Q** 公式LINE運用ルールは。

**A** 市政情報配信の内部ルールでは、事業規模の条件や審査期間の設定により、タイムリーな情報発信が難しくなっており、デジタル化が進む中で時代にそぐわなくなっている。

**Q** 市民サービス向上のための庁内横断的活用方法は。

**A** 市では、広報こまつやお茶の間ガイド、ホームページ、SNSなど各媒体の特性を生かし、効果的な情報発信を目指している。今後は市民ニーズに応じた内容に見直すため、8月にアンケートを実施し、結果を分析して広報戦略に反映させる。

市民に伝わる、  
教育と  
広報のアップデート



よしば ぶんご  
吉柴 文悟  
議員

一括質問



動画でチェック

◆普通財産の現状について

**Q** 普通財産の活用状況は。

**A** 近年の主な事例では、旧波佐谷小学校が公募型プロポーザルを経て敷地賃貸型での建物譲渡を行い、施設は市内食品加工事業者の研究開発拠点として活用されている。また、小松駅前の旧市営駐車場用地はウレシヤス小松事業用地として貸付けを行うなど、民間主体での活用が図られている。市営住宅跡地についても、旧木曾町住宅や旧日本江町住宅では、地域優良賃貸住宅の整備に合わせた民間の宅地開発のほか、旧小野保育所においても、本年4月にマイナス入札での建物解体条件付きの売却を県内で初めて行い成約した。

**Q** 小松産蜂蜜への積極的な支援及び取組は。

**A** 山間地の資産は、豊かな自然や静けさ、深い歴史、文化など固有の特色や魅力を有し、それらを生かした利用が進むことで、コストや税収面だけでなく、地域の活性化に

もつながると認識している。その中で、現在取り組まれている市の未利用地を活用した養蜂事業には大いに期待をしている。今後も、こうした民間活用や事業展開などが進むよう、様々な角度から利活用策を共に考えたい。

例えば老朽化した建物が残る土地や荒廃した土地については、コスト負担への不安を解消し、事業者等が投資判断しやすいよう公費での解体処分等を前提とした提供とするなど、様々な取組を通じて、市と利用者がウィン・ウィンとなるような資産活用に取り組みたい。



市の未利用地を活用した民間による養蜂事業

公有財産のさらなる  
有効活用について



ふかた ひろとも  
深田 博智  
議員

一括質問



動画でチェック

子どもたちの未来が光り輝くための政策について  
豊かな心を育む学校給食について



さいとう かずみ  
齋藤 和美  
議員

一括質問



動画でチェック

◆5歳児健康診査について

**Q** 国のガイドラインとの違いや本市特有の取組について。

**A** 国は発達障害を早期に発見して就学前に適切な支援を行うことを目的とし、本市は当該健診を児童の現時点での発達の遅れを整理し、成長を促す対応策を保護者ととも園に伝えることを主たる目的とする。

**Q** 健診結果の判定と支援方法について。

**A** 一次健診では、問診票や医師の診察をもとに健診を行い、必要に応じて二次健診として、心理士や理学療法士等による専門的観察を行う。健診結果を活用し、家庭とこども園が共通理解を持ち、一貫性のある対応が行えるよう助言していく。

**Q** 福祉と教育の連携や、就学前支援から小学校教育への接続について。

**A** 発達支援センターえぶりいとこども園が連携し、適切な時期にその子に応じた療育機関の利用調整を行う。就学前支援では、評価シートの引継ぎや就学相談を通じ、小学校生活への円滑な適応に努めている。

◆学校給食について

**Q** アレルギー対応と支援制度について。

**A** ①自己除去対応②完全弁当持参③一部弁当持参④除去食の提供のいずれかの対応をしている。完全弁当持参者のみに給食費相当額を補助している。

**Q** 休校時の食材廃棄について。

**A** 契約に基づき食材のキャンセルや返品、保存可能なものは次回以降への使用に充てる等の対応を行っている。しかし、次回以降使用できない食材については廃棄していた。

**Q** 食育の観点から、食材を廃棄せず、地域と連携し『食のセーフティネット』を構築すべき。

**A** 今後は食品ロス削減に向け、必要な人に必要な分を届ける仕組みを構築していけるよう、関係団体と協議を行っていきたい。

働く高齢者への物価高騰対策、地域活動の推進、災害復旧事業について



むらなか ひろし  
村中 洋  
議員

一括質問



動画でチェック

◆高齢者対策について

**Q** 働く高齢者(65歳以上)への物価高騰の支援も必要では。

**A** 高齢者予防接種の自己負担額の抑制で経済的負担を軽減している。今年度からは带状疱疹ワクチン接種も定期予防接種化された。

デジタル地域通貨「トチポ」は65歳以上にもポイントが付与される。

**Q** 認知症高齢者の行方不明対策と見守り体制について。

**A** 市民の皆様が認知症を正しく理解することが大切であり、地域全体での支え合いが必要。行方不明者の情報は、家族の同意のもと、防災行政無線、公式LINE、こまつ防災アプリ等を通じて発信し、町内会等と連携して早期発見に努めている。

◆町内会活動の推進について

**Q** 小松市のイノベーションファシリテーターとは。

**A** 対話の場を進行して多様な参加者の思いを引き出し、自発的な行動を生み出す役割を担う人材。

す役割を担う人材。

**Q** イノベーションファシリテーターを町内会に派遣し、地域課題の解決を推進しては。

**A** 住民それぞれの意見を伝え合うことで新しい気づきを生み出す充実した場になると考えられる。実現に向けて体制を整えていく。

◆能登半島地震の災害復旧事業について

**Q** 国から査定を受けた工事額は。

**A** 市全体で62件、合計約20億円。

**Q** 生活基盤の早期回復のための復旧事業の進捗状況と発注見通しは。

**A** 令和6年度末時点で35件、全体の56%が契約締結済。部局別の発注率では上下水道局が36%と低いが、全体復旧事業量(約6km)が大きいことや設計に時間を要していることが要因になっている。また、末広陸上競技場の公認に係る工事を追加し、今年度中の発注を目指している。

◆ふるさとこまつ持続のために

**Q** 移住・定住策から関係人口の増大にシフトする自治体もあるが、本市では、どのような方策で対応していくのか。

**A** 本市では、2040年においても人口10万人を維持する目標を掲げている。移住・定住につなげる実人口の増加を目的とした政策の展開に重点を置いている。

移住・定住には、働く・学ぶが重要な要素であり、新たな仕事づくりにつながる産業団地の造成や企業・オフィス誘致など、産業創生に注力する。また、小松に住んで良かったと感じられるよう小松の生活のQOLを高めることが重要だと考えている。

◆梯川の緊急治水対策事業

**Q** 鍋谷川、滓上川及び石橋川に関連する遊水地の利活用について。

**A** いずれの遊水地も具体的な利活用の方針は定まっていない。今後、県が検討する際には、市として県に有効な利活用について要望し、石橋川遊水地の利活用についても、検討を進めたい。

◆公園の新しい利活用について

**Q** 市内の公園の現状と役割について。

**A** 市内には、8種類の都市公園とその他公園・緑地など合わせ、189か所の公園がある。公園は、市民のレクリエーションやコミュニティの場であり、人々の心を和ませ木や花などの自然環境を育てる場所でもある。また、大きな地震などの災害が起きた場合には避難する場所にもなり、人々の豊かな暮らしを支える重要な施設ともなっている。

**Q** 新しい公園整備の計画はあるのか。

**A** 石川県が管理する木場潟公園東園地では、令和5年4月に1期整備がされたが、2期工事として、令和11年の完成を目指し、令和6年はアンケート調査を実施し、令和7年には基本設計、令和8年には実施設計を行うと聞いている。

**Q** 問屋第1公園（ドッグラン施設）の利用状況について。

◆地域消防力の強化

**Q** スタンドパイプ及び小型動力ポンプについて。

**A** スタンドパイプ初期消火セットは、狭い場所で消火活動が行え、2名で運搬から操作まで可能である。令和7年6月現在、市内32町、38基が配備されている。

小型動力ポンプは、自然水利も水源となるので、重要な装備である。

どちらも有効な初期消火の手段であり、地域の特性に見合った消防活動が行えるよう、操作訓練を継続するとともに、スタンドパイプの普及も含めて、地域自衛消防隊の保持により地域防災力の強化を図る。

**Q** 第14国府分団車庫の移転整備のスケジュールは。

**A** 第14国府分団活動拠点施設は、水害リスクがなく、消防活動に支障のない高台への移転整備を進める。令和7年度に用地取得と建築設計を行い、令和8年度に建築工事、令和9年度の竣工を目指す。

持続的発展と安全  
安心なまちづくり



なかにし はじめ  
中西 肇  
議員

一括質問



動画でチェック

ワンランク上の生活  
空間あふれるこまつ

**A** 平日は約20人から30の方が利用され、特に夕方時の使用が多い。土日は時間を問わず、1日で50人以上が利用している。6月2日から8日の1週間では、186人に御利用いただいた。

**Q** 次のドッグラン施設の計画はあるのか。

**A** 具体的な整備計画は今のところ予定はないが、今回整備した問屋第1公園は北部にあるため、多くのニーズが予想される中心市街地あるいは南部地区においても、低未利用な公園や緑地の整備を行っていきたいと考えている。

また、公園改修等を行う際には、公園の新たな活用として、ドッグラン施設は非常に時代のニーズに合っていると思われるため、そういった整備を念頭に置きながら、低未利用の公園、緑地を有効活用するため、計画的に取り組んでいきたい。



うめだ としかず  
梅田 利和  
議員

一括質問



動画でチェック

ふるさと納税の取組について



たかの 高野 哲郎  
てつろう 議員

一括質問



動画でチェック

◆ふるさと納税の取組について

**Q** CMOに就任され約1か月。小松の印象はどのように映っているか。見えてきた課題は。

**A** 食をはじめ伝統の技や文化、豊かな自然など、他にはない魅力があふれている。主な課題は、主力商品である米の供給不足、返礼品の品ぞろえと価格帯の偏り、事業者数と分野の偏在、プロモーション体制の未整備、事業者自身の意識の変革などがある。

**Q** 小松市役所にはCMOが希望する人材やスキルは整っているか。

**A** 住民に近い目線で地域の魅力や課題に日々向き合っている職員が多く、そこそがマーケティングの本質的な力の源泉だと考える。

**Q** 今年のふるさと納税目標額6億円に向けた具体的な取組例は。

**A** 生産者との協力体制の強化、品目数拡充と価格帯のバリエーションの工夫、現地型コンテンツの導入などの商品開発、伝統工芸、観光体験などを含めたコト消費分野の拡充に努める。また、ふるさと納税ポータル

サイトであるSEO対策や検索広告等をはじめとした施策に着手予定で、事業者が自ら主体的に活用していただく意識改革にも挑戦していきたい。

**Q** そもそも目標額6億円をカバーするだけの商品量、商品力、サービス量、サービス力が小松市に足りているのか。不足している場合、どう対応していくのか。

**A** 潜在的な返礼品事業者の掘り起こし等を行い、課題に対しても中長期的なアプローチで着実に前進していきたい。

**Q** 行政の自主財源確保のためふるさと納税の取組は大変重要である。ふるさと納税10億円に向けたCMOの抱負は。

**A** 戦略的に展開すれば十分に達成できる目標であり、市民、事業者、行政が三位一体となり、地域ブランドとして確立していきたい。



5月に就任した林CMO

熱中症から命と健康を守る取組について



はしもと 橋本 米子  
よねこ 議員

一括質問



動画でチェック

◆クーリングシェルターの取組について

**Q** クーリングシェルターの設置箇所数とその整備内容(机・椅子)などは。

**A** 公共・民間施設ともに23施設の合計46施設に設置し、休息用の椅子などを備えていることを指定条件の1つとしている。



各施設のクーリングシェルターを活用しましょう!

◆高齢者世帯へのエアコン購入設置への助成制度創設を求める

**Q** 特に非課税者の中では高齢者が多く、エアコンの設置を促すために助成制度が大切と思う。

**A** クーリングシェルターの設置拡大や的確な注意喚起がまず第一に効果的な対策

であると捉えており、今後も市全体で熱中症予防に努めていく。

◆石川県地震被害想定結果を受けて

**Q** 県は27年ぶりに被害想定結果を公表した。今回の県の見直しの重要な点をどう考えるか。

**A** 想定する断層帯の追加、地震が発生する想定シーンの細分化、被害想定項目の充実などが重要な点と考えている。

◆市地域防災計画の見直しについて

**Q** 指定避難所の見直し、避難所の「TKB(トイレ、キッチン、ベッド)」の充実など環境整備、公立小中学校及び高校体育館へのエアコン設置など、どう進めるか。

**A** 公民館を一時的な避難場所として活用できるか等の検証を行う。備蓄品については、公的備蓄だけでなく、自助としての個人備蓄、民間事業との協定による流通備蓄と合わせて基本的な考え方を整理する。学校体育館の空調設置は、公立学校配置最適化の方向性を検討する中で進めていきたい。

花の助成事業の突然の終了と新制度について



きむら けんじ  
木村 賢治  
議員

一問一答



動画でチェック

◆花の助成事業終了について

**Q** 25年間続いた助成事業が説明なしに突然終了したのはなぜか。

**A** 活動の広がりや成果を得た一方、担い手不足や高齢化、温暖化による管理の困難さなど課題も。今後の時代に合った制度への転換のため、予算議決後、夏花壇の花植えが始まる前に速やかに通知した。

**Q** 今後、事業終了時の通知方法は改善されるのか。

**A** 今後も文書通知を基本としつつ、ホームページなど様々な媒体で丁寧に伝える。また、事前に常任委員会ですっかりと説明も行う。

**Q** 実施予定のアンケートの活用方法は。

**A** 団体の活動状況や新制度の利用意向を調査し、結果は市ホームページで公表予定。今後の事業や講習会等に活用したい。

◆ブロードリスニングについて

**Q** ブロードリスニングとは何か。

**A** 多様な手段で広く市民意見を収集し、AIで分析・可視化する手法。一般的なリスニングは手作業で対象に限られる。

**Q** アメリカでは教師がいないAIのみの学校が出始めている。AIが普及すると将来的に政治家は不要になるのでは。

**A** AIによる分析は補助であり、最終判断は市民に選ばれた政治家が今後も担うことになるだろう。議論を経た意思決定の重要性は変わらない。

◆学校再編について

**Q** 校下という学校を中心とした地域コミュニティが形成され、根付いている本市において、地元の意見集約が重要と考える。地域、学校、行政が一体となって進めていく必要がある。

**A** 統廃合に当たっては、当事者である保護者や地域の方々に広く御意見をお伺いすることが望ましいと考えている。

◆中学校の部活動地域移行

**Q** 秋の新人戦以降、運動部における休日の部活動はどうなるのか。

**A** 休日は部活動としての活動はできない。学校の部活動のチームが休日に活動しようとするときは、地域クラブから指導者を派遣してもらうこととなる。なお、顧問の先生が希望する場合には、顧問の先生自身が地域クラブの指導員として土日に指導することは可能である。

**Q** 顧問の先生が地域クラブに所属しない場合は、土日に指導することは出来ないのか。

**A** 大会前一定期間や大会の勝ち上がりなど、練習試合や集中的に練習が必要であるときには、例外的に土日の活動が認められる場合もある。

◆芦城公園の花見とトイレ整備

**Q** 昼間の芦城公園でのお花見に、ぼんぼりがなくて寂しいという意見が多く寄せられたが。

**A** ぼんぼりは、使用していた白熱球の設備が老朽化し、既に器具は生産中止となっており、同様のLED灯具のぼんぼりについても製造はしていない状況である。

芦城公園の夜桜を楽しみに待っている方も多くおられるため、今年からは桜本来の美しさを引き出させる樹木用のLED灯具によるライトアップに切り替えたところである。

**Q** 芦城公園と中央緑地のトイレの洋式化について2年前にも質問したが、進展はあるか。

**A** 芦城公園や中央緑地のトイレ施設は設置後30年を超えており、今後、施設の老朽化に伴う維持管理費の増大が見込まれることから、施設全体のリニューアルが必要だと考えている。未来型図書館の整備に伴い再整備する予定であるが、近隣トイレの減少や花見などの利用ニーズを踏まえ、今年度から段階的にトイレの洋式化を進めていきたい。

部活動地域移行と芦城公園の花見、トイレ整備



はまぐち じゅんや  
濱口 淳也  
議員

一問一答



動画でチェック

農業の発展・ゼロカーボンシティへの取組・ドローン活用



ひがし こういち  
東 浩一  
議員

一問一答



動画でチェック

◆農業者支援、農産物推奨支援は

**Q** 人づくり、生産拡大・販路開拓、場づくりについて。

**A** JA小松市との連携協定は意義深く、しっかりとタッグを組んで農業者支援を行っていききたい。農産物の推奨支援は、農業情勢を見極めながら、新たな制度創出等を行い、支援に努めていきたい。

◆森林環境譲与税について

**Q** 本市の活用状況について。

**A** 森林環境保全推進費として、令和7年度予算は約3,700万円を計上し、手入れ不足人工林の整備等を実施している。

**Q** J-クレジットでのCO<sub>2</sub>削減数量、取組活用は。

**A** 本市の市行造林576haの試算では、推計約5,600トンの削減効果を期待。仮にJ-クレジット制度導入の際は、地産地消の取組として地元企業への販売促進を図り、販売益による資金を活用し、森林保全に努める。

◆2050ゼロカーボンシティ

**Q** 目標とこれからの取組は。

**A** 2030年度までのCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比で50%削減する目標であり、環境省の重点対策加速化事業に係る令和8年度応募に向けて、今後検討を進めていきたい。

**Q** EV車におけるCO<sub>2</sub>削減効果と購入支援制度について。

**A** ガソリン車と比較した場合、環境省試算では車両一台当たり年間0.63トンの削減効果があるとのこと。購入支援については、社会情勢を注視しながら今後検討する必要があると考える。

◆ドローン活用について

**Q** 令和5年からの取組状況は。

**A** 松東地区にドローンデポを開設し、フードデリバリー、買物代行サービス等を開始。また、荷物の共同配送も実施。

**Q** 公民館などのコミュニティ施設の駐車場を離発着場としては。

**A** 実現に向けては地域住民の理解と協力が必要であり、市としても地域住民と事業者とが連携できるよう協力していきたい。

なぜ結婚出産が減るのか？  
官民挙げて対策を！



きのした ひろあき  
木下 裕介  
議員

一問一答



動画でチェック

◆危機感を抱く市の出生数減少

**Q** 2024年は前年比10%減の652人となった。最大の要因は。

**A** 出産適齢期にあたる女性の減少が一番大きな要因。

**Q** 女性の減少に加え、婚姻件数も半世紀で半減しており、未婚化が進んでいる。未婚化対策に積極的に取り組むべきでは。

**A** 未婚化の背景には雇用の不安定さや所得面での不安があると認識している。若い世代にとって魅力的な働く場の創出や、安心して暮らせる住環境の整備に取り組んでいきたい。

**Q** 行政だけで少子化対策を進めるのではなく、経済団体や民間も巻き込んだ「少子化対策会議」のような場を設けてはどうか。

**A** 今後検討していきたい。

◆ハラスメントへの対応について

**Q** 小松市民病院に外部のハラスメント相談窓口が設置され1年が経過した。相談件数とその内容は。

**A** 延べ34件でパワーハラスメントが大半を占めている。

**Q** 見えてきた課題と改善点は。

**A** 課題は周知不足とハラスメントへの意識に職員間でまだばらつきがあること。その対応として対策指針の策定を進めている。

**Q** 外部相談窓口の設置は病院にとって成果があったと考えるか。

**A** 窓口の設置やハラスメント研修の実施、業務改善の取組もあり、一定の効果があったと考える。

**Q** 市役所でも同様の仕組みを導入してはどうか。

**A** 市役所内のハラスメント相談件数が今のところ少ないことから、現在のところ設置は考えていない。

◆休日保育と公立保育所の在り方

**Q** 昨年9月議会において、公立こども園の休日保育の実情について質問した。その後の市の対応は。

**A** 正規職員の負担軽減を図るため、専任職員2名を雇用した。

**Q** 築48年で老朽化が進むやたのこども園の建て替え計画は。

**A** 建て替え計画中のだいいちこども園の整備後を予定している。

基地周辺対策及び  
空港周辺整備について



にっ した ひろゆき  
新田 寛之  
議員

一問一答



動画でチェック

◆航空機騒音被害特別調整交付金について

Q F-35Aの配備計画は。

A 今年度は7機が配備予定で、既に3機が配備され、6月18日に2機が配備予定。今年度の残り2機を含め、令和8年度に5機、令和9年度から11年度はそれぞれ8機が配備予定。

Q 交付金増額の推移とタイミングについて。

A 昭和55年度に1,000万円から開始。平成19年度に在日米軍訓練受入れで8,000万円に増額、平成28年度に飛行教導群の受入れで1億円に、平成30年度から小松市独自2,000万円を上乗せし、現在のところ1億2,000万円を交付。

Q 今後の対応について。

A 今後も防衛省、近畿中部防衛局に対して交付金や補助事業の充実に関する要望を行っていく。

◆アリーナ構想について

Q 現状と今後の対応について。

A 北國フィナンシャルホールディングスが令和4年度に計画した、民設民営のアリーナを核とした商業施設やホテルを含む地方創生プロジェクトは、安宅新産業団地を候補地としていた。市は工業用地として取得した同団地を商業用途として建築できるよう調整を行い、公平な審査の後に優先交渉権者に決定し売却した。しかし、当初計画の建設費150～200億円が350億円に膨れ上がり、民設民営によるプロジェクトは断念。今後は事業者や県、国と協議し、北陸全体の発展の起爆剤にしていきたい。

◆緑の少年団の活動について

Q コロナ禍を経て現状は。

A コロナ禍では活動を制限、縮小した。5類移行後もコロナ前に比べ全体での活動は減少している。

Q 全国育樹祭に向けて、今後どう盛り上げていくか。

A 緑の少年団の活動の機運を盛り上げ、子供たちが興味を持ち、積極的に参加したくなるような活動になるよう工夫していく。

◆想定される被害状況について

Q 震度7の地震時や梯川水系氾濫の被害状況の想定は。それら同時多発時の被災人数は。

A 地震時の建物被害は全壊全焼で12,317棟、死者数638人、避難者数32,932人と想定。氾濫時の避難者数は1万人と想定。同時多発時の避難者数は4万人超となるが、大部分が重複しているため精査が必要。

◆避難所の受入体制について

Q 指定緊急避難場所、指定避難所の場所と箇所数、収容人数は。

A 指定緊急避難場所は、芦城公園など28か所を指定。指定避難所は67か所を指定し、屋内の収容人数は約37,000人と想定。

◆通信インフラの強靱化について

Q 固定型及び移動型衛星インターネットの設置場所は。市民は利用可能か。

A 固定型は市災害対策本部と消防本部に設置。移動型は、通信網が途絶した避難所などに設置し、避難者が利用できるようにする。

◆仮設住宅の設置場所について

Q 能登地域ではグラウンド等に設置し運動に支障が出ていると聞く。本市はどこを想定しているのか。

A 民間賃貸住宅を活用した賃貸型応急住宅とプレハブ住宅等の建設型応急住宅とがあり、設置場所は、こまつドーム駐車場や市場の敷地を想定している。

◆乗合ライドシェア導入について

Q 南部地区に導入する背景、目的は。

A 路線バス粟津線の大幅な減便により交通空白が拡大している地域であり、その解消を目指す。

Q 期間、時間帯、運行形態は。予約と告知の方法は。

A 秋から3か月間、平日日中の時間帯に複数利用者によるAI乗合型ライドシェアを運行。アプリやコールセンターでの予約、市ホームページやSNS、チラシでの周知を予定。

Q 想定される課題は。

A 適正な運賃設定や支払い方法、ドライバーの確保などが課題。

災害有事の対応と南部エリア  
乗合ライドシェア実証実験について



よしむら のりあき  
吉村 範明  
議員

一問一答



動画でチェック

公会堂に代わる  
新ホール建設構想を問う



よしもと しんたろう  
吉本 慎太郎  
議員

一問一答



動画でチェック

◆公会堂に代わる「音楽の聖地」としての新ホール建設構想

**Q** 先日開催された「ありがとう、公会堂」セレモニーに心打たれた。音楽の聖地としての新ホール建設構想はないのか、市長に今一度問う。

**A** 今後の人口減少や整備・運営のコスト、施設の適正数や適正規模の観点から、現時点での構想はない。

◆事業承継支援体制の構築が急務

**Q** 官民連携によるこれまでの取組は。

**A** それぞれの機関の強みを活かし、事業者への調査や支援等を連携協力して取り組んでいる。

**Q** 今議会に計上された事業承継マッチング支援、小松市継業バンクの概要と現在までの成果は。

**A** 事業を譲りたい人と継ぎたい人をつなげる支援を行う。本年1月から6月末までの実証事業では全国から多数の問い合わせやご応募をいただいた。

**Q** 後継者不足による個店の廃業に対してスピード感を持った対応を。

**A** 今後も関係機関と連携し、マッチング支援や後継者育成など、スピード感を持って進めたい。

◆エイジフリーWORKの推進

**Q** 小松市役所会計年度任用職員求人応募要項には「雇い止め」とある。労働力の確保のためにも行政が率先して撤廃すべきではないか。

**A** 最長1年の有期雇用であるため雇い止めと表記している。正規職員の定年から65歳から上がれば、会計年度任用職員も年齢要件引き上げを検討したい。

◆今年のお旅まつりを振り返って

**Q** 曳山八基曳揃えの人流を、まちなかまで波及させるべき。来場者を回遊させる仕掛けづくりを。

**A** 会場の提供や情報発信を通じて、商店街など民間事業者の活動を応援していきたい。

打越地区  
土地区画整理事業



かたやま しんじろう  
片山 瞬次郎  
議員

一問一答



動画でチェック

◆打越地区土地区画整理事業

**Q** 概要と下水道事業の整備は。

**A** 地権者142名で構成される区画整理組合が施行する事業で、施行面積は16.2ha、約300区画の良好な住宅地を整備する計画。令和6年度より上下水道の実施設計画を進め、令和8年秋から工事に着手し、令和11年度末に完成予定。

**Q** 雨水対策と降雨確率は。

**A** 石川県の「雨水排水協議基準」により、50年に1回の確率降雨を想定した調整池で雨水の流出を抑制し、排水先となる九竜橋川の水位上昇を抑えるよう雨水排水対策を行うもので、地区内に調整池を6か所、合計約14,000m<sup>3</sup>を貯留する計画。

◆デジタル地域通貨と小松トチポ

**Q** デジタル地域通貨アプリ「トチツーカー」から「小松トチポ」のポイント入手の手順は。

**A** 申請者が自身のスマートフォンにトチツーカーアプリをインストールし、利用者登録を行う。アプリ内で地域ポイントの「小松ト

チポ」を追加すると、後日市からポイントが付与（2,000円分）される。

**Q** 自治体マイナポイントとは。

**A** 自治体が独自で行うマイナポイントを活用した給付事業で、マイナンバーカードを使って本人確認、申請を行い、電子マネーやQRコード決済などのキャッシュレス決済サービスポイントを付与（5,000円分）する事業。

◆防災庁分局の誘致について

**Q** 防災庁分局の機能の誘致に一層の働きかけと市長の思いは。

**A** 知事要望を実施し、国への要望も新規項目としてあげている。馳知事とともに機会があれば赤澤大臣のところへ訪問し、小松のことをアピールしたい。

◆製品プラスチックリサイクル

**Q** リサイクル手法は。

**A** 廃プラスチックを原材料として改めてプラスチック製品に再利用するマテリアルリサイクルを想定。

# 予算決算常任委員会総括質疑

令和7年度6月補正予算

## 会派自民



吉柴文悟 委員



動画でチェック

### ◆防災行政無線運営費

**Q** 全国瞬時警報システム（Jアラート）の更新について、更新による機能向上の見込みは。

**A** 更新により、地域単位で細分化して情報を配信できるようにする。

### ◆地域交通推進費

**Q** バス乗降センサーによる交通データの活用について。

**A** バス乗降センサーで停留所ごとの利用状況を把握し、路線やダイヤの最適化に活用していき、WEB上で走行中のバス位置がわかるバスロケーションシステムの構築についても検討する。



岡山晃宏 委員



動画でチェック

### ◆公共ライドシェア運行費

**Q** 今回実証実験を行う乗合ライドシェアについて、乗合ということは1組のお客でも運行するのか。

**A** 複数の利用者が1台の車両を共有して目的地まで向かう交通サービスであるが、同じ時間帯に他の利用者がいない場合は1人での乗車も可能。

**Q** ドライバーの確保が課題であるが、市のドライバー募集対象にある70歳未満という条件が壁だと感じている。撤廃してはどうか。

**A** 安全に運行できる方法を検討した上で、必要であれば75歳をめぐり年齢要件を引き上げたい。

**Q** 運行範囲は。

**A** 符津、矢田野、栗津、那谷の4校下内に限定。

**Q** 観光、ビジネス客への対応は。

**A** SNSの活用、主要施設でのポスターやチラシ配布等で周知予定。配車アプリはホテル・旅館の方が代理予約できるものなど、総合的に判断して決定する。



高野哲郎 委員



動画でチェック

### ◆曳山保存展示施設整備費

**Q** 予算の内訳は。

**A** 曳山保存展示施設の基本構想、基本計画の策定に要する業務委託料が主。

**Q** 橋北地区3基のみの運用なのか。

**A** 橋北地区3町の曳山を組み立てた状態で収納する方針。

**Q** 総合的に8基のこれからを考えるべき。

**A** 地元関係者と状況を共有し保存展示の方向性をまとめていく。

**Q** 團十郎芸術劇場うららでの展示で曳山への影響は。

**A** 一定の湿度管理は難しい。保存展示環境の改善に向け検討する。

## 小松志士の会



木村賢治 委員



動画でチェック

### ◆広報・広告・宣伝費

**Q** モビリティサイネージの効果測定に人流AI分析を導入し、反応の可視化を提案する。

**A** スマホの位置情報データを活用し、広告が届いた対象者の属性を事業者から提供いただく予定。

**Q** ネットミームや都市伝説を活用したプロモーションを提案する。

**A** オリジナリティとインパクト重視の戦略を軸に展開したい。

### ◆防災体制強化費及び消防署・所施設整備費

**Q** 衛星インターネット通信機器を防災訓練でのお披露目や設置訓練を通して周知することで、市民の安心向上も図っていただきたい。

**A** 防災訓練では地域住民と協同で設置訓練を予定している。マスコミにより市民への周知を図る。

**Q** 衛星からスマホへ直接通信できる新技術の導入を提案する。

**A** 技術進歩の状況を見て判断したい。



濱口淳也 委員



動画でチェック

◆学校体育・健康教育推進費

Q 事業の内容は。

A 小学校6校を対象に、7月から12月までの間、授業の一環として屋内プール施設を利用し、児童が専門的知識を有するスポーツクラブなど、民間事業者のインストラクターから水泳の指導を受けるというもの。

Q 子供たちの泳力向上に向けて、民間事業者との連携は。

A 児童最大10人程度につき1人のインストラクターが受け持つ。担任は、インストラクターの指導の様子を見守り、児童一人一人の伸びや課題を把握する。

Q 今後については。

A 外部委託を進めることによる教育上の効果や教員の負担軽減といったメリットの評価などを行い、次年度以降もこの事業を適正に進めていけるよう、引き続き検討していきたい。

自民党こまつ



吉村範明 委員



動画でチェック

◆製品プラスチックリサイクル推進費

Q 事業内容は。

A 製品プラスチックの分別とリサイクル推進に向け、10月から3か月間、3小学校区を選定し試験収集を行う。

Q 予算の内訳は。

A 処理体制の調査や中間処理、収集運搬に係る費用など。

Q 分類方法と告知方法は。

A プラスチック素材100%が対象で、周知文書の配布と説明会を実施。

Q 全市的な今後の事業展開は。

A 費用対効果を見極め、全域での実施を検討。



川崎順次 委員



動画でチェック

◆飛行場周辺対策費

Q 1,000万円増額分の使い道は。

A 小松基地へのF-35A配備に伴い、小松飛行場周辺整備協議会への交付金について、増額の補正予算を計上するもの。

Q 小松基地開設から60年余り、今の国際情勢を考

えれば、F-35A配備による基地との共存共栄の観点から増額はありがたい。県も市と同じぐらいの額を出してもらおうよう訴えていくことが大事。

A 県にも応分の負担をしていただく必要性があると思っている。

◆小松駅周辺整備調査費

Q ウレシャス小松の完成に向け、駐車場の状況は。

A 北陸電力からは、時間貸し及び月ぎめ駐車場の一定数の利用が見込まれると聞いている。

Q 老朽化したアーケードについて、どう取り組んでいくのか。

A 解体撤去に向けて取り組む必要性があると考え、費用負担は今後、各組合と協議していきたい。

Q 都市開発を目指せ。

A 解体撤去後、どのようなまちづくりにしていくのか検討が必要。

◆防災対策強化費

Q 通信インフラへの落雷対策は。

A 市庁舎や消防本部は被雷設備があるが、広い視野を持って、今後のインフラ強靱化につなげていきたい。

無 会 派



木下裕介 委員



動画でチェック

◆不妊・不育治療支援費

Q 一般不妊治療費の助成を倍増した理由は。

A 物価高で経済負担が増す中、妊娠の機会損失防止のため増額した。

Q 体外受精や顕微授精などの生殖補助医療にも助成の拡大を求める。

A 治療の有効性と助成基準のバランスを見極めながら、制度の在り方を考えていきたい。



橋本米子 委員



動画でチェック

◆デジタル地域通貨活用事業費及び働く世代応援自治体マイナポイント事業費

Q 事業の申請率の想定は。

A 対象年齢のマイナンバーカード保有者のうち、デジタル地域通貨(トチポ)が6割、自治体マイナポイントは7割の見込み。

◆公共ライドシェア運行費

Q 乗合型ライドシェアの安全性は。

A 運転前にアルコールチェックや車両の点検を行う。

## 予算決算常任委員会

### 議案第37号 令和7年度小松市一般会計補正予算(第1号)について

#### ■広報・広告・宣伝費 (5,000千円)

首都圏におけるモビリティサイネージを活用したシェアプロモーションであり、本年12月の1か月間、ポスターラッピングした4トントラックが首都圏を走行することで、本市の認知度の向上を図るものです。

効果が見えにくい取組であると思われるので、実施による効果を必ずフィードバックしてほしいとの意見がありました。また、どのような広告や音楽になるのかを、決定次第、随時報告してほしいとの意見がありました。

#### ■デジタル地域通貨活用事業費 (103,600千円) 及び働く世代応援自治体マイナポイント事業費 (195,000千円)

エネルギーや食料品価格等の物価高騰対策として、マイナンバーカードを保有している一定年齢の市民に対し、デジタル地域通貨ポイントやマイナポイントを付与するものです。

デジタル地域通貨については、利用者の増加と利便性向上を目指し、加盟店の拡大やネット銀行など他の金融機関の口座から入金できる機能の充実を求める意見がありました。

一部の委員からは、両事業は物価高騰対策であるため、対象者をマイナンバーカードの保有の有無で限定すべきではないとして、両事業に反対する意見がありました。

#### ■公共ライドシェア運行費 (10,800千円)

符津、矢田野、栗津、那谷の4校下において、交通空白解消に向けたAI乗合型ライドシェア(自家用有償旅客運送)の実証実験を実施し、公共交通としての持続可能性を検証するものです。

乗合型ライドシェアはドアツードアであることから、便利な公共交通機関となることが期待できるので、ぜひ頑張って取り組んでほしいとの意見がありました。

#### ■不妊・不育治療推進費 (1,500千円)

一般不妊治療費助成制度を拡充するもので、これまでの補助率は自己負担額の1/2、限度額1年間当たり5万円のところ、自己負担額10/10、限度額を10万円に改定するものです。

総括質疑では、より高度な生殖補助医療に対しても一層の助成拡大を求める意見がありました。

#### ■学校体育・健康教育推進費 (11,220千円)

水泳授業支援業務として、市内小学校6校を対象に屋内プールを活用し、民間事業者へ水泳授業の指導を委託するものです。

指導者や屋内プールの確保など外部委託の今後の展開を心配する意見や、子供たちの泳力向上のため、今後は市内全校に広めてほしいとの意見がありました。

#### ■市立高校改革検討費 (2,000千円)

市立高校の在り方等の検討に向けた調査等に係る費用です。

差別化を図る意味で給食を導入してはどうかという意見や、将来どのような高校を目指すべきかを考えることが重要であるとの意見がありました。

#### ■製品プラスチックリサイクル推進費 (11,400千円)

現在、可燃ごみとして焼却処理している製品プラスチックの分別収集と資源化に向けて、リサイクルによる効果や課題の整理、処理体制を検討するため、市内の3小学校区で実施する試験収集に係る費用です。実施予定時期は、本年10月から12月の3か月間であり、実施にあたって、通知文の戸別配布や必要に応じた町内会への説明会など行うとのことです。

実施対象となる小学校区を速やかに決定し、丁寧な説明と周知をしてほしいとの意見がありました。

#### ■事業承継支援費 (2,400千円)

小松市継業バンクの運営等に係る費用です。経営者の高齢化や後継者の不在等により、事業を譲りたいと考えている人の事業情報をホームページに掲載し、その事業を継ぎたい人を全国から募集して、両者をつなげる運営窓口となるものです。

市内事業者の事業承継を推進する非常にいい取組であり、今後を期待する意見がありました。

#### ■小松運動公園テニスコート等整備費 (5,000千円)

小松運動公園南側の末広相撲場周辺を機能転換し、テニスコートの増設や駐車場の拡張等を検討する基本計画の策定に係る費用です。当該テニスコートの利用者は増加傾向であり、全国大会を誘致する観点から、現在の14面から16面に増設することや、観客席を増設することを望む声が市民からも上がっているところです。

問屋町と市民センターのテニスコートの廃止による利用需要の増加に対応するためにも、基本計画策定後は早期に実行に移してほしいとの意見がありました。

## 議案第39号 令和7年度小松市水道事業会計補正予算(第1号)について

### ■災害時や断水事故対応のための可搬式浄水設備等購入費(9,200千円)

可搬式膜ろ過装置1台の購入に係る費用です。本年1月31日に発生した簡易水道下大杉地区での水源地の土砂崩れ以降、仮設浄水場の設備として当該装置2台で町内への給水を行っているところですが、うち1台はレンタル品となっており、1台での給水では負荷がかかりすぎることから、今回購入するものです。

当面は仮設浄水場用として運用することとなりますが、これまで経験した豪雨や能登半島地震を教訓に、災害対策として常備するものです。

今後の災害の備えとしてしっかり活用してほしいとの意見がありました。

## 議案第54号 専決処分の承認を求めることについて 令和6年度専決第18号 令和6年度小松市一般会計補正予算(第9号)について

### ■児童手当給付費(△120,000千円)

出生数確定の決算見込みによる減額とのことです。

母子手帳の交付状況などから次年度の出生見込み数を精査し、当初予算を確定すべきとの意見がありました。

## 報告第12号 法人の経営状況の報告について

株式会社こまつ賑わいセンターの経営状況については、施設の賃貸借や管理運営、子育て支援サービスなどにおいて、時代のニーズに合わせた事業を展開し、経営の安定化に向けた取組を進めているところです。子育て支援サービスについて、カブッキーランドにおいては利用者数、売り上げとも前年度を上回る状況であり、ファミリーサポートセンターとこども預かりサービスステーションについても、引き続き市と関係機関との連携を図っていくものです。

子育て支援は、潜在的なニーズが多くあるため、委託運営側としても情報発信や事業の改良に積極的に関与し、利用者を増やすための取組やサービス向上などに努めてほしいとの意見がありました。

## 総務企画常任委員会

### ■第27回参議院議員通常選挙について

7月20日執行予定の参議院議員通常選挙において、従来、移動期日前投票所を開設していた農山村地域において、移動支援への切替えを行い、対象地区と期日前投票所間でバスによる無料送迎を実施するものです。

一部の委員からは、投票環境の向上を目的に当日投票所においても、いずれの投票所でも投票ができる共

通投票所の導入を検討してほしいとの意見がありました。

### ■令和7年度小松市消防団総合訓練の結果について

今年度は6月22日にこまつドームで開催され、全団員360名中313名が参加されたとのことです。

当日団員として参加した委員からは、暑さ対策として開会式での半袖着用や開催日の変更を求める意見がありました。

また、消防団員の数が定員に達していない現状について、引き続き団員の確保に努めてほしいとの意見がありました。

### ■請願第1号 高額療養費改定の見直しを求める請願について

本請願は、患者が支払う医療費負担限度額(高額療養費制度)を引き上げる改定について、見直しを求める意見書を議会で採択し、国に対して提出を求めるものです。

3月定例会では、国において議論中であり、国の動向を注視しながら判断すべき事項であることから、継続審査とすべきとしていたものですが、今回、「持続可能な高額療養費制度になるようさらなる議論を求める意見書」が市議会から提出される予定であり、意見書との整合性を図るため、賛成少数で不採択とすべきものと決した次第です。

一部の委員からは、高額療養費改定はいまだ国で結論が出ていないものであり、また、本請願と今回提出されている意見書は切り離して考えるべきであるため、本請願を採択とすべきであるという意見がありました。

### ■議案第55号及び議案第56号 工事請負契約の一部変更について

令和6年発生能登半島地震災害 九竜橋川排水路復旧工事(1工区)(2工区)に係る契約の一部変更を行うものです。

昨年1月の能登半島地震による液状化現象により、排水路護岸ブロックにめくれや背面土砂の噴砂が発生したため、鋼矢板で護岸を復旧しているところですが、鋼矢板の規格の変更や支障樹木の伐採・伐根に係る数量の変更により契約金額が増額となるものです。

議案第55号の1工区は、当初請負額2億6,092万円が2億9,019万円余に、議案第56号の2工区は、当初請負額2億8,380万円が2億9,745万円余に増額となるとのことです。

この工事により、かなり長い間通行止めとなっているため、一日も早く工事を進めてもらいたいとの意見がありました。



## 福祉文教常任委員会

### ■議案第49号 小松市教育研究センター条例の一部を改正する条例について

改正内容は、教育研究センターの移転に伴う位置の変更と、運営に関する基本的な事項を審議するための運営委員会に関する条項を削除するものです。教育研究センターの設置から20年以上が経過し、基本的な運営の在り方が定まってきたこと、また全国の機関から運営に関する様々な情報提供が適時適切に受けられる環境が整ったことで、運営委員会の役割を終えたことから所要の改正を行うものです。

### ■小松市民病院建設基本計画について

老朽化が顕著であるとともに、部門間の連携や動線に不都合が生じていることから、新病院建設に向けた基本計画を策定するもので、2031年度の竣工を予定しているものです。

他自治体病院との役割分担についての意見や医師の確保を求める意見がありました。

### ■特殊詐欺等被害の未然防止のための周知啓発について

令和6年中の被害額について、「特殊詐欺」においては石川県内128件、被害額約3億2,000万円で、うち小松市内15件、被害額約2,200万円、「SNS型投資・ロマンス詐欺」においては石川県内109件、被害額約12億円で、うち小松市内16件、被害額約3億6,000万円とのことであり、未然防止への取組として、広報こまつや公式LINE、ホームページ、防災無線などの活用と、敬老会や各種サロン等の求めに応じ講師派遣をするなど出前講座での啓発を行うものです。

地道な作業ではありますが、大変重要な事項であるため、周知啓発に尽力をお願いしたいとの意見がありました。

### ■避難行動要支援者名簿について

市において、災害発生時又はその恐れがある場合の避難誘導や安否確認などを行うため、支援を必要とする方の名簿を備えており、名簿情報は本人の同意を得て民生委員や自主防災組織などに提供しているとのことです。

また、住民基本台帳の情報に基づいた避難行動要支援者人数に対し、平常時から名簿情報を避難支援等関係者へ提供することに同意する割合が35.4%との報告がありました。

同意者が低い状況を受け、災害時に円滑かつ迅速な避難誘導ができるよう、少しでも同意者が増えるように努めてほしいとの意見がありました。

## 経済建設常任委員会

### ■議案第46号 小松市企業立地促進及び都市機能向上に関する条例の一部を改正する条例について 及び 議案第47号 小松市企業立地促進及び都市機能向上のための市税の課税の特例に関する条例について

企業の立地及び都市機能の向上を促進するため、これまで助成金で対応していた企業立地支援制度について、新規雇用者数の要件の廃止など、交付要件を緩和する条例改正を行うものです。

また、固定資産税の課税を免除する条例を新たに制定し、この2つの条例を合わせて実施することで、多様な企業が進出しやすく、継続的な事業運営を支援する制度となるものです。

人手不足が課題となる中、小規模な事業者にとっても利用しやすい制度になることは、よい改正だとの意見がありました。

### ■議案第51号 特定事業契約について

小松市宮本江町住宅の跡地において、既存の市営住宅を解体し、子育て世帯を対象とした市営の地域優良賃貸住宅の整備と、分譲宅地開発を一括して行い、令和8年8月に工事を完成させ、入居者を募集する予定とのことです。

令和4年に整備された木曾町の地域優良賃貸住宅は、好評につき満室状態と聞き及んでおり、本事業においても、子育て世帯を意識した環境整備も期待する意見がありました。

### ■ウレシャス小松における優先交渉権者の決定について

本年10月23日に完成するウレシャス小松の5階フロアのオフィステナントについて、3社目の優先交渉権者が決定したことにより、全部で10区画あるうちの3区画目が埋まったとのことです。

企業がオープン前に入居を決定することは、ハードルが高い部分もあるとは思いますが、残りの区画の誘致についても積極的に取り組んでほしいとの意見がありました。



# 特別委員会 調査報告

## 小松基地・空港対策 特別委員会

### ■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点で小松基地における訓練計画はないとのことですが、訓練計画については、速やかに情報提供するように求めました。

### ■令和7年度小松市一般会計補正予算(第1号)について

飛行場周辺対策費に、1,000万円増額の補正予算を上程しているもので、用途としては、小松市航空機騒音被害特別調整交付金として、小松飛行場周辺整備協議会へ交付するものです。県5,000万円、市7,000万円、計1億2,000万円の当初予算から市分7,000万円を8,000万円とするものです。

これまで、小松市は地域住民の皆様の理解を得ながら、基地との共存共栄を図ってまいりましたが、この度、4月からF-35Aの配備が始まり、今後はさらに、小松飛行場が国防拠点として重要性を増すことが予想されます。小松飛行場周辺整備協議会では、これまで騒音や周辺対策の調査研究、国への要望活動などを進めてきましたが、今回の配備を受けて、さらなる活動の拡充が予想される中、これまでの活動、調査に対する経費等含め、負担軽減を図るため、1,000万円を増額するものです。

委員からは、県負担分5,000万円について、小松空港は基地としてだけでなく共用空港であり、貨物便、国際便の運航も行っていることから、県においても応分の負担をしっかりと検討し、基地との共存共栄に向けて、増額することを要望してほしいとの意見がありました。また、F-35Aの騒音については、従来のF-15と音の質や、うるささが異なる上、特に振動がこれまで以上にあるという住民の声が寄せられており、こうした状況も踏まえて、地元住民の意見をしっかりと聞き、現場での理解を求めて

いく必要があるとの意見もありました。

その他に、在日米軍再編に伴い戦闘機訓練の移転などを受け入れた市町村に支給される再編交付金が近年減額されている上、来年度で期限切れになることにに対し、増額や延長を求める声が委員から上がりました。

### ■空調復旧に係る優先措置について

平成30年度から実施されている空調復旧工事に係る優先措置について、今年度も継続して実施されるということです。

対象は、75歳以上の高齢者のみのご家庭や、家庭保育のお子さんや障がい者手帳をお持ちの方が暮らすご家庭です。受付期間は6月から8月までとなり、昨年度からエアコン申請台数を2台まで増やしているということです。

### ■航空プラザについて

令和6年度の来館者数は約20万9,000人で、令和5年度と比べて約5%の増加となっており、ゴールデンウィーク中の来館者については、1万2,400人余りでした。今年は開館30周年の年で、10月下旬に開催される小松空港の空の日のイベントに併せて、航空プラザにおいても、開館30周年記念イベントを開催予定とのことです。シミュレーター体験やクイズラリー、プラモデルの展示など、来場者の皆様に楽しんでいただける企画を検討していくとのことです。

また、施設の改修については、今年度は雨漏りが発生している建物西側外壁の修繕を、石川県において9月下旬から3か月程度の工期で実施予定とのことです。今後も北陸唯一の航空博物館として、航空マニアから家族連れまで幅広く楽しめる施設として、魅力向上に努めながら、運営を行っていくとのことです。

## 議会中継 録画配信中

小松市議会ホームページでは、過去の本会議の録画映像を配信しています。

パソコンでの視聴に加えて、スマートフォン、タブレット端末からもご覧いただけます。ぜひご利用ください。

小松市 議会



パソコンの場合はこちらから。

# 6月定例会の議決結果

## ■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
予算案 (3件)	第38号 令和7年度小松市産業団地事業特別会計補正予算(第1号)	可決
	第39号 令和7年度小松市水道事業会計補正予算(第1号)	//
	第40号 令和7年度小松市下水道事業会計補正予算(第1号)	//
条例案 (10件)	第41号 小松市議会議員及び小松市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	//
	第42号 小松市選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例について	//
	第43号 特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	//
	第44号 小松市税条例の一部を改正する条例について	//
	第45号 小松市民センター条例の一部を改正する条例について	//
	第46号 小松市企業立地促進及び都市機能向上に関する条例の一部を改正する条例について	//
	第47号 小松市企業立地促進及び都市機能向上のための市税の課税の特例に関する条例について	//
	第48号 小松市都市公園条例等の一部を改正する条例について	//
	第49号 小松市教育研究センター条例の一部を改正する条例について	//
	第50号 小松市スポーツ賞条例の一部を改正する条例について	//
その他議案 (4件)	第51号 特定事業契約について	//
	第52号 工事請負契約について	//
	第53号 財産の取得について	//
	第54号 専決処分の承認を求めることについて	承認
市長提出 追加議案 (3件)	第55号 工事請負契約の一部変更について	可決
	第56号 工事請負契約の一部変更について	//
	第57号 監査委員の選任について	同意
議員提出議案 (2件)	第4号 学校給食の無償化制度の構築を求める意見書	可決
	第7号 脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書	//
その他案件 (1件)	諮問 第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意

## ■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

議案名	会派自民										小松志士の会			自民党こまつ		無会派				議決結果		
	灰田昌典	表靖二	高野哲郎	吉本慎太郎	梅田利和	新田寛之	東浩一	村中洋	吉柴文悟	宮西健吉	中西肇	濱口淳也	木村賢治	川崎順次	吉村範明	深田博智	橋本米子	片山瞬次郎	木下裕介		齋藤和美	岡山晃宏
予算案(1件) 第37号 令和7年度小松市一般会計補正予算(第1号)	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
議員提出議案(2件)	第5号 経口中絶薬の要件変更に係る慎重な対応を求める意見書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
	第6号 持続可能な高額療養費制度になるよう更なる議論を求める意見書	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
請願(1件) 第1号 高額療養費改定の見直しを求める請願	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	不採択

※南藤陽一議長、岡山晃宏副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。南藤陽一議長は採決には加わりません。

## 9月 定例会のお知らせ

次の定例会は9月1日から9月30日までの30日間です。

※詳細は議会ホームページをご覧ください。

9月1日(月)	10:00~	<b>本会議</b>	開会・市長説明
8日(月)~10日(水)	9:30~	<b>本会議</b>	一般質問
17日(水)	9:30~	<b>委員会</b>	予算決算常任委員会総括質疑
18日(木)・19日(金)	9:30~	<b>委員会</b>	各常任委員会(分科会)
22日(月)	13:30~	<b>委員会</b>	特別委員会
30日(火)	13:30~	<b>本会議</b>	委員長報告・採決・閉会



小松市イメージキャラクターカブッキー

# 活動ピックアップ

## ありがとう、公会堂 セレモニー



**開催日** 令和7年6月1日(日)

市民の皆様から寄せられたご意見を受けて実施された、小松市公会堂の「お別れ会」。当日は多くの方が市役所庁舎正面の市民広場に集まり、目の前に堂々と建つ公会堂を眺めながら、小松市青少年吹奏楽団による演奏に耳を傾け、それぞれの思い出を振り返る、心温まるセレモニーとなりました。

市役所内では、公会堂建設当時の写真や映像が上映され、「ここで結婚式を挙げた」「レストランで初めてオムライスを食べた」といった懐かしいエピソードも聞くことができました。長年親しまれてきた公会堂への感謝や名残惜しさを分かち合う、貴重なひとときとなったと思います。

市民の皆様の声を大切に受け止め、今後のまちづくりにも活かしていきたいものです。  
(濱口委員)

## お旅まつり 曳山曳揃え



**開催日** 令和7年5月10日(土)

小松市を代表する伝統行事「お旅まつり」は、毎年5月に開催され、加賀地方随一の華やかさを誇る祭礼です。とりわけ見どころのひとつとなるのは曳山曳揃えです。今年は7年ぶりに、現存する八基すべての曳山が市内各町から繰り出されて一堂に会し、ライトアップされた絢爛豪華な姿が披露されました。

曳山が並ぶ光景は壮観で、地元の方々はもちろん、多くの観光客を魅了していました。  
(村中委員長)

## 小松市戦没者慰霊式



**開催日** 令和7年6月7日(土)

小松市戦没者慰霊式が市民センターで行われ、日清戦争以降の戦没者3,116柱の冥福を祈念しました。

市長や市議会議長をはじめとする来賓、山口俊一郎市遺族会長が慰霊の言葉を述べ、遺族や市民が献花しました。

(吉柴副委員長)

### 読者の声をお寄せください

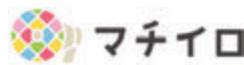
議会だよりをお読みいただいたご感想をお聞かせください。

右記QRコードを読み込んでいただき、「氏名」「連絡先」等必要事項を入力の上、お送りください。



### 議会だよりが

スマホで読める!



スマートフォン用広報紙配信アプリ「マチイロ」では、いつでもどこでも手軽に議会だよりを読むことができます。

「マチイロ」ダウンロードはこちらから▶



## サポートネット

日時●8月30日(土)・9月20日(土)・10月18日(土)  
9時~11時30分

## 専門家による無料相談会

会場●小松商工会議所

問い合わせ先:担当 竹内 TEL 0761-22-9990



不動産鑑定士 澤矢 豊伸 TEL0761-21-1122	弁護士 杉本 昌之 TEL0761-24-3633	中小企業診断士 社会保険労務士 竹内 広幸 TEL0761-22-9990	司法書士 行政書士 田中 一生 TEL0761-48-7040	税理士 行政書士 谷口 勇一 TEL0761-76-5503	弁護士 中西 祐一 TEL076-256-5413	土地家屋調査士 行政書士 山崎 豊 TEL0761-20-3175
------------------------------------	---------------------------------	--	--	---	---------------------------------	--

- ◆法律
- ◆人事・給与
- ◆債権回収
- ◆会社設立
- ◆多重債務
- ◆相続
- ◆完済過払
- ◆事業承継
- ◆税金
- ◆農地転用・開発行為
- ◆登記
- ◆事業計画
- ◆不動産評価
- ◆公的年金 等の

ご相談をお気軽に【秘密厳守】  
私たちが相談に応じます。